

2020年11月27日

株式会社電通国際情報サービス

## ISiD、旭化成と農業データ流通基盤の実証実験を開始

～消費者へ新しい購買体験の提供を目指し、都内大手小売りスーパー2か所で月内より実証販売～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:名和 亮一、以下 ISiD)と旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、社長:小堀 秀毅、以下 旭化成)は、ISiD のブロックチェーン技術を活用した農業データ流通基盤「SMAGt(スマッグ)」と旭化成が展開するクラウド型生鮮品物流システム「Fresh Logi™(フレッシュロジ)システム」とを連携させ、2020年11月21日から都内大手小売りスーパーで実証実験を開始したことをお知らせします。

SMAGt は農産物の生産履歴から出荷、流通、販売までをブロックチェーン技術を用いて記録する農業データ流通基盤で、現在まで複数の自治体・企業の協力を得ながら社会実装の検証を進めており、本効果検証もその一環です。

ISiD は、旭化成が展開する Fresh Logi™システムでセンシングする輸送環境データを SMAGt に自動連携する仕組みを開発しました。商品に張り付けられた QR コード※を読み取るだけで、SMAGt が管理する産地・農産物のトレーサビリティや、流通・物流における経路情報に加え、Fresh Logi™が管理する輸送品質情報までの取得が可能となります。これにより、農産物のブランド価値発信、トレーサビリティによる食の安心・安全、さらには流通経路における輸送品質の可視化により、農産物の販路開拓や小売事業者の産地開拓、さらには輸出拡大への貢献が期待できます。

### ■効果検証の概要■

- ・実施 日:11月21日(土)～22日(日)、11月28日(土)～29日(日)、12月5日(土)～6日(日)の計6回
- ・実施 場所:東京都内大手小売りスーパー
- ・対 象:スーパーを利用する一般消費者
- ・検証の 流れ:
  - 農業や化学肥料を可能な限り使用せず、町ぐるみで土づくりに取り組んでいる宮崎県綾町のこだわり農産物を、集荷業者による予冷後に、Fresh Logi™ボックスを利用して都内のスーパーまで配送。
  - 店頭では、POP やディスプレイでの商品訴求に加え、商品に張り付けられた QR コードを消費者がスマートフォン等から読み取り、生産者のプロフィールや個々の生産履歴等の情報と Fresh Logi™ボックスにて測定された輸送環境データ及びそのデータに基づく輸送品質評価を確認し、購入を検討。
- ・検証のポイント:提供する一連の情報が、消費者理解の向上や新しい購買行動につながるか等の効果を検証し、本取り組みの事業化を目指します。

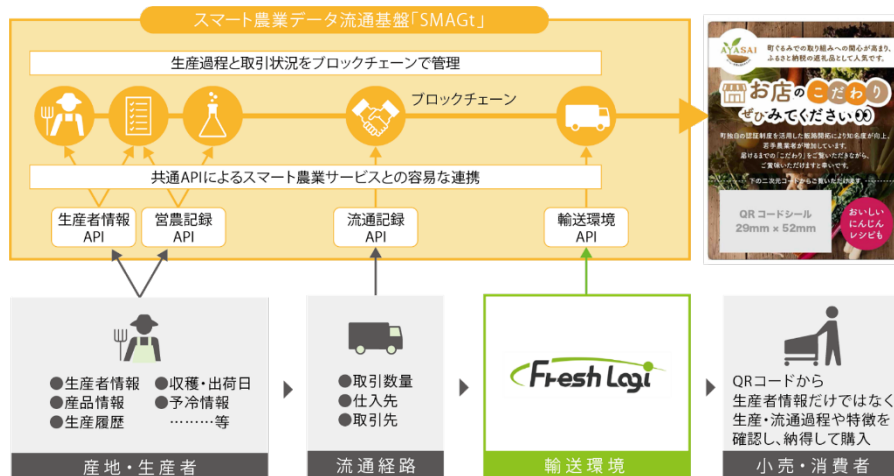
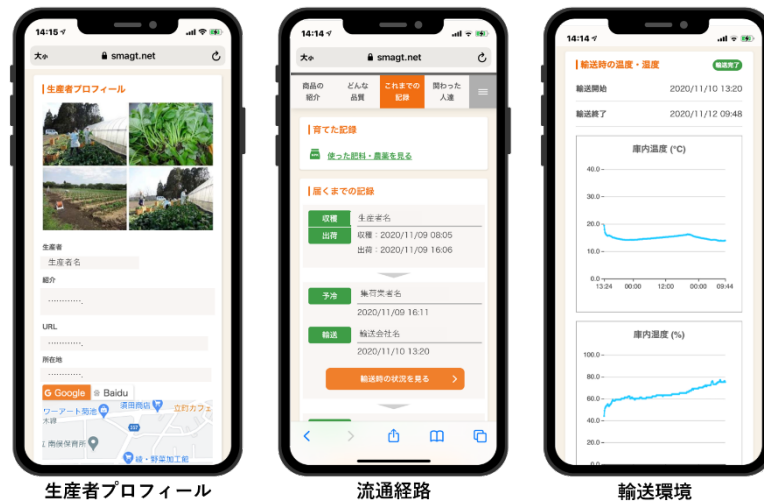


図:「SMAGt」と「Fresh Logi™」連携によるスマートフードサプライチェーン



図：SMAGtによるこだわり情報発信イメージ

ISiD は今後も、導入が加速しているスマート農業 IoT 機器・クラウドサービスや、物流・流通における外部サービスとの連携を積極的に進めてまいります。

■旭化成の「Fresh Logi™システム」および「Fresh Logi™ボックス」について■

「Fresh Logi™システム」は、「Fresh Logi™ボックス」\*を用いた、クラウド型生鮮品物流システムです。ボックス内の環境(青果物の輸送・保管温度・湿度・ガス組成など)をセンシングすることで輸送・保管環境を可視化します。さらに旭化成のインフォマティクス技術を活用して青果物の鮮度を推定・予測します。「Fresh Logi™システム」の詳細：<https://akfood-agri.com/>

\*「Fresh Logi™ボックス」:

旭化成建材株式会社の高機能断熱材「ネオマ®フォーム」(<https://www.asahikasei-kenzai.com/akk/insulation/neoma/index.html>)を用い、冷媒や冷蔵システムがなくても青果物の低温保持を可能にする運搬用ボックスです。少量に分けて収納・運搬が可能のため、品目毎に最適な温度で輸送ができない、ドア開閉時に青果物がヒートショックを受けて鮮度が落ちてしまう、といった従来の冷蔵車の運送時の課題を解決します。またボックスに内蔵されたセンサーで輸送環境を可視化することで、青果物の品質の信頼性の向上を実現します。

関連プレスリリース

- ・ブロックチェーン技術で地域農産品の生産履歴と取引状況を可視化する、スマート農業データ流通基盤「SMAGt」を開発～トレーサビリティの向上で自治体・地域商社等による農産品ブランディングや輸出拡大に貢献～（2020年1月7日）  
<https://www.isid.co.jp/news/release/2020/0107.html>

■電通国際情報サービス (ISiD) について

ISiD は、「HUMANOLGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」をビジョンに、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支援しています。金融、製造、ビジネスソリューション、コミュニケーション IT の 4 領域で培ったソリューションの提供に加え、テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、顧客、生活者、社会の進化と共存に寄与するソリューションを生み出し続けます。詳細は、[公式 WEB サイト](#)をご覧ください。

※ QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス X イノベーション本部 ビジネスインキュベーション部 中山、佐野  
TEL: 03-6713-6124 E-Mail: [g-SMAGt05@group.isid.co.jp](mailto:g-SMAGt05@group.isid.co.jp)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション部 赤瀬、金野 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: [g-pr@isid.co.jp](mailto:g-pr@isid.co.jp)